

|      |   |     |       |       |         |
|------|---|-----|-------|-------|---------|
|      |   |     |       | 科目コード | 117     |
| 科目名  | 助産学実習 I<br>(Clinical Practice in Midwifery I)   |     |       | 選択区分  | 必修      |
| 単位数  | 3単位   | 時間数 | 135時間 | 学期    | 前期      |
| 担当教員 | 今村 朋子、井上 明子、伊藤 美香、山本 美由紀、<br>小嶋 理恵子   |     |       | 区分    | 助産学実践領域 |
| 実習目的 | 周産期ケアから女性の健康支援まで幅広く、リプロダクティブヘルス/ライツに関わる助産師としての役割を明確にする。また、1例以上の分娩介助を実施し、マタニティサイクルの助産実践の基礎を学ぶとともに、助産学実習Ⅱの導入として位置づけ、今後に向けた課題を見出す。 |     |       |       |         |
| 実習目標 | 1 正常な経過をたどる母子と家族に対する基本的な助産実践について理解できる。<br>2 女性の健康に関する援助の実際と助産師の役割について考察できる。<br>3 助産師像を明確に描くことができる。                              |     |       |       |         |

| 実習内容   |  |
|--|--|
| 1. 実習期間<br>3週間<br><br>2. 実習時間<br>原則として、8:00~16:00とする<br>分娩期実習は24時間の待機制で行う<br><br>3. 実習場所<br>・愛媛県立中央病院（総合周産期母子医療センター、産婦人科外来）<br>・松山赤十字病院（成育医療センター：産婦人科病棟、産婦人科外来）<br>・四国中央病院（産婦人科病棟、産婦人科外来）<br>・NTT西日本松山病院（産婦人科病棟、産婦人科外来）他<br><br>4. 実習の展開<br>詳細は実習要綱を参照 |  |
| 成績評価方法   | 実習評価表（100点）の項目について、実習内容および到達度、実習態度を点数化し評価する。 |
| 教科書  |  |
| 参考図書等  |  |
| 備考   |  |